



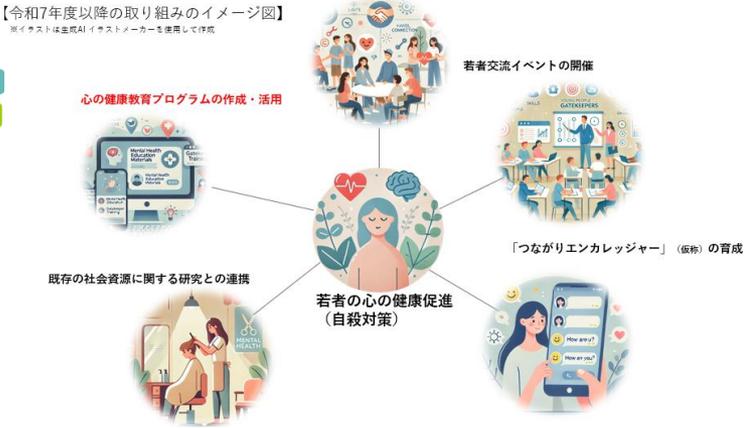
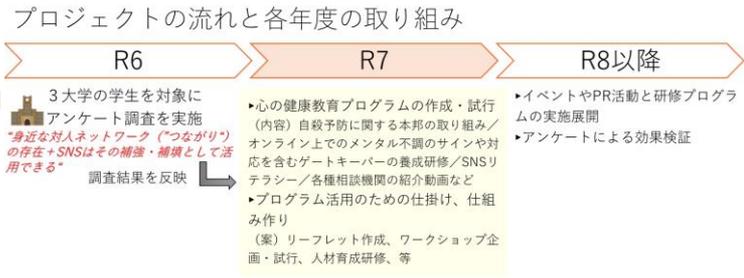
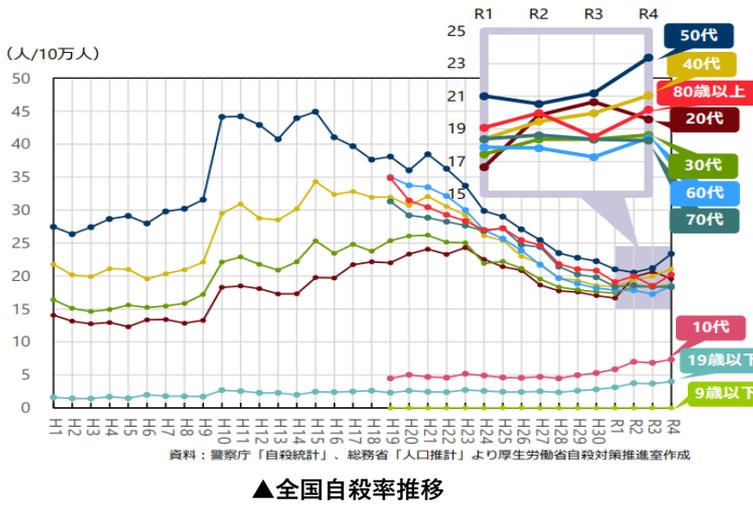
1 課題 自殺率は低下傾向にあったが、令和2年以降、特に若者世代における自殺死亡率が全国的にも増加しており、対策の必要性が高まっている。

2 概要 令和6年度の調査結果を踏まえ、自殺予防につながる研修プログラムを作成し、その効果検証を行う。合わせて、プログラム活用のための仕掛け・仕組みづくりを行い、市内各大学に働きかけて一体的に実施することにより、大学と市の自殺対策における連携体制の構築・強化を図り、学生個々の自殺予防やメンタルヘルス向上を目指す。

大学 **西村 太志**
広島国際大学
健康科学部心理学科
社会心理学 教授(学科長)

太田 真貴
広島国際大学
健康科学部心理学科
臨床心理学 客員講師

市担当課 ×
**健康福祉部
医療保健課**



3 到達目標・方法

- (1) 自殺予防につながる研修プログラムの作成(副産物としてのコンテンツ作成含む)とその効果検証
- (2) プログラム活用のための仕掛け、仕組みづくり
 - ① 若者向け交流イベントの企画・試行とその評価
 - ② 人材育成(つながりエンカレッジャー(仮称))

つながりエンカレッジャー(仮称)
オンラインのみに限らず、人々がつながり合える地域作りを促進・活性化する役割をもつ人材